

令和 2 年度
自己点検・評価報告書

【対象期間】 自：平成 31 年 4 月 1 日
至：令和 2 年 3 月 31 日

令和 2 (2020) 年 4 月
学校法人創心会 西日本看護専門学校

本校では、自己点検・評価について、平成 29 年度まで「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」に基づき、自己点検・評価を実施してまいりました。さらに、平成 30 年度からは、より良い自己評価を目指して、看護学校の学校運営としての評価の公表が適切であると判断し、文部科学省で策定された「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、評価項目の改良・拡充を行い、現状・課題の把握並びに改善策の検討・実施を行っております。この自己点検・評価報告書は、令和元年度の自己点検・評価の結果を記したものである。

1. 学校の教育目標

- 1) 人間を、身体的・精神的・社会的・霊的に統合された、全人的存在として理解する能力を養う。
- 2) 人々の健康と生活を、自然・社会・文化的環境との相互作用の観点から理解する能力を養う。
- 3) 生命の尊厳と人々の多様な価値観を尊重し、豊かな感性を持ち信頼関係を築く能力を養う。
- 4) 健康や障害のあらゆる状態に応じた看護を、科学的根拠に基づいて実践するための基礎的能力を養う。
- 5) 保健・医療・福祉制度と、他職種の役割を理解し、チーム医療を実践するとともにコーディネーターとしての基礎的能力を養う。
- 6) 専門職業人として社会性・自立性を身につけ、誇りと責任を持ち、自ら学び続ける能力を養う。

2. 令和元年度に定めた重点的の取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育活動充実のため、教員確保と研修受講
- 2) 学生の退学、休学、原級留まりの減少
- 3) スクールカウンセリングの開始
- 4) 新カリキュラムへの取り組み
- 5) 防災についての規則見直しと調整

3. 評価項目の達成及び取組状況

1. 教育理念・目標

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1
学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4	③	2	1
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

理念、目的、卒業時の学生像については、学生便覧に明記し、ホームページに公開している。理念に「ひとり、ひとりを大切に心のこもった看護を実践する」を掲げ、目的を「看護の理論と実践を通して、専門職業人としての看護観を育て、優れた知識・技術に基づいて主体的に責任ある看護活動を

行い、看護の発展に寄与できるための基礎的能力を修得する」としている。毎年、新入生を迎えるにあたって、学生、保護者に理念、目的目標、卒業時の学生像について説明を行い、周知を図っている。

教育目標は、教育理念、目的と一致し、教育内容を網羅したものになっている。また、卒業生像については、教育目標に対応しており、本校の人材育成像がはっきりと読み取れるものになっている。

令和2年度からは、シラバスに学校理念、教育目標を掲載し、常日頃から学生の目に留まるよう改善した。

社会のニーズに向けての将来構想については、在宅医療の発展への方向性に対応できる教育内容である。また、学生のレディネスを把握しながら、社会人基礎力を充実していく教育を実施している。

令和元年中長期目標を設定した。今後はカリキュラム改正の動向や保健医療福祉の変革を見守りながら、将来図を決定していく。次期カリキュラム改正では、他職種との連携強化について、見直す必要がある。

II. 学校運営

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
業界や地域社会等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

本校は学校法人であり、理事会・評議員会が毎年実施され、その中で決定権が行使されている。

学校の収支、寄附金の受け入れ、役員・評議員の選任に関する事等、理事会・評議員会にて決定している。毎月運営会議を開催し、学校運営のすべてを会議にて審議している。教務会議は定期的に1週間に1回開催しており、教務に関する内容について協議し、決定している。またこれらの運営については学則に明記しており、学則、細則、内規については毎年定期的にすべて見直し、整備している。

教育活動に関する情報は、本校のホームページにて公開しており、定期的に更新している。

III. 教育活動

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1

学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保する等などマネジメントが行われているか	④	3	2	1
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

カリキュラムに関しては、学科、実習すべて教育理念に沿った内容である。理念に沿って看護の心を育てる教育カリキュラムを組んでおり、コミュニケーション技術や人間関係論などの充実、また、看護観を育てるといった特色ある内容となっている。

実習においては、急性期病院での実習が充実している。また、あらゆるライフステージの人びとを理解するために、病院のみでなく様々な実習場所を確保し、理解を深めていける実習を組んでいる。今後は、慢性期、回復期における実習の充実を図ることが課題である。また、学科、実習ともに実践とそのエビデンスが順序立てて学べるよう、カリキュラムは体系的に編成している。

令和元年より、学生からのカリキュラムアンケートを実施し、アンケート結果を基に学習評価の分析を行い、現状の把握と課題の洗い出しを行った。学科や実習では、シラバスによる学生への事前の提示、その後の指導の評価、アンケートの実施、その結果の振り返りを行い、今後の指導の示唆を得て、次回に活かす一連の過程を実践している。

シミュレーション教育に関しては、本年度多くの教員が研修に参加し、本校で実施できる方法について、検討している。

単位認定については基準を定め、運営会議にて認定審議を実施している。実習に関しては、毎年指導者会議を複数回実施し、病院での指導内容や実習における全体的な評価を頂き、その後の実習指導に反映している。

看護師国家試験に向けての指導体制については、カリキュラム内容（学科・実習）の充実を図るとともに、1年次後半より対策を実施しており、2年次では模擬試験の実施、3年次においては頻回な模擬試験の実施と個別指導や長期休暇期間における集団指導等を実施している。

教員研修に関しては積極的に推奨しており、毎年多くの教員が研修に参加できているが、下半期から教員数が減少したため、研修に参加する機会がもてなかった。今後の課題は、授業研究の実施と教員養成講習会受講についてである。教員養成講習会に受講できていない教員が2名であったが、令和

元年度 1 名が受講を修了した。令和 2 年度専任教員が 3 名入職するが、その内 1 名が令和 2 年度教員養成講習会受講の参加が決定している。

令和 2 年における重要事項は、新型コロナウイルス感染症対策に伴った教育活動について、柔軟に対応し、あるいは見直す必要がある。

IV. 学修成果

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	③	2	1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

国家試験の合格率・就職率ともに良好であることから、本校の教育水準は一定の水準に達していると言える。

退学については、その原因を追究し、日々指導を振り返り、学生の学校生活への指導に活かしており、退学する学生は少しずつではあるが、減少傾向にある。その一方で学科・実習ができない学生が増加している。アドミッションポリシーの明確化・看護への興味や関心の向上のための工夫・指導内容など、今後の課題である。

卒業生の動向については、卒業年の 8 月にホームカミングデイを開催し、卒業生の近況と就職後の動向を情報収集している。また、卒業生が就職した病院に卒業生の近況について尋ね、情報収集をしている。卒業後の学修成果については、主たる実習病院での指導者会議において、本校の卒業生の現状を情報収集した結果を、演習等に組み込み実施している。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症防止の対応策に関する学修成果を見て行く必要がある。

V. 学生支援

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1

保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
社会的ニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	③	2	1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

学生の相談体制・経済的支援・健康管理・課外活動に対する支援等は十分整っている。相談体制については、面接計画も整っており、必要時には随時面接を実施している。経済的支援については、奨学金制度や公共職業訓練等の教育訓練などを活用している。さらに令和2年度から開始となる高等教育修学支援新制度の対象機関となった。

健康管理については、毎年5月に健康診査を実施し、健康管理について個別指導を実施している。また、インフルエンザ予防接種は学校負担で実施し、健康管理についての支援は、校医と協議しながら行っている。

課外活動はクラブ活動も充実し、ストレス発散や学びの場となっている。保護者とは、学生の学習状況や、生活態度等の問題があるときに連携を取っている。さらに年1回学生後援会を開催し、情報交換等を実施し、学校の情報公開に努めている。令和2年度からスクールカウンセリング室を開設し、学生の精神的支援を図る。

高校との連携については、積極的に向き、学校説明会及び看護師という職業教育やキャリア教育を実施している。卒業生への支援に関しては、平成30年度よりホームカミングデイを実施している。

VI. 教育環境

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1			
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	②	1

(2) 状況および課題と改善策

施設・設備については、毎年見直し整備している。また、実習施設についても教育環境について話し合い、環境を整えていただいている。令和2年6月から遠隔授業を開始できるよう準備し、実施していく。

防災訓練を毎年1回必ず実施しているが、充実した訓練を実施しているのは火災のみのため、今後はあらゆる災害を見越した訓練が必要である。防災時の学生・教職員用に水分の確保は本年度実施した。今後大雨による警報等で学校に留まらなければならなくなった場合を想定し、非常食等の準備を検討する必要がある。感染対策における実習や講義の変更に柔軟に対応できるよう準備、実施していく。ICTなどの活用を思考していく。

VII. 学生の受け入れ募集

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

学生募集については、オープンキャンパス・学校見学会の実施、ホームページに公開、学校案内・学生募集要項の配布、学校ガイダンスの参加、高等学校を訪問し、学生の募集活動を行っている。その際、本校の教育成果については明確に説明をし、公表している。18歳人口が減少する中、入学者の確保のための方策を今後も実施していく必要がある。令和2年度入学試験において、高等学校より面接時の内容についてのご指摘があったため、今後面接の質問に対して再度確認を実施する。

VIII. 財務

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

ホームページに公開の財務諸表のとおり、学校の財政基盤は安定している。今後も学生数の確保を図り、継続して中期的な財政基盤の安定に努めていく。事業年度開始に当たって作成する予算について、教育機器・教材の購入を年間の予算に計上し、計画的・優先的に購入し、予算の編成及び執行は適正に実施している。会計監査は、公認会計士及び監事により適正に行われている。財務情報については、事務局に決算書類等の帳票を備え付けるとともに、ホームページに公開している。

IX. 法令等の遵守

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

法令、専修学校設置基準・看護師養成所の運営に関する指導ガイドラインの遵守と適正な運営を実施している。また、個人情報に関し、その保護のための対策をとっている。

自己評価の実施は、自己点検・自己評価の委員を組織し、毎年実施しており、教職員全員が把握し、周知するよう指導している。自己評価結果については、ホームページに公開している。

X. 社会貢献・地域貢献

(1) 評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
学生のボランティア活動を奨励し、支援しているか	④	3	2	1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

(2) 状況および課題と改善策

卒業生や看護師への図書室の開放や、地域の講演等に講堂等を開放するなど、学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献をおこなっている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援している。

福岡県専任教員養成講習会の講義・演習を引き受け、看護教員の育成に携わっている。